（別紙５）

公表　事業所における自己評価結果

事業所名	児童発達支援事業所ぽてと

公表日　2026年　12月　31日

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	5		・備品の置き場の整理整頓に努めている。 ・机上訓練の際はパーテションを設置し集中できる環境を整えている。	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	5			・人員配置は適切であるが万が一の際に職員数が足りないと感じている。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	5		・階段に手すり設置、靴の脱ぎ履きがしやすいよう折りたたみ椅子の設置をしている。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	5		・都度清掃を心掛けテーブル等、除菌している。 ・毎時間換気を行い空気の入れ替えを実施。 ・活動内容によっては所外に出かける事もあり心地よく過ごす場に努めている。	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか 。	5		・体調不良などで個室利用の希望があった場合は対応可能な部屋がある。	
業務改善	6	業務改善を進めるための PDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	4		・勤務の都合上参加できない職員もいるが別日を設けて話合いをしている。	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	5			・開所して初めての評価表になり、今回の結果を確認し必要に応じて改善していく。
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	4	1	・朝礼等で情報共有の場を設けている。 ・その都度情報共有している。	・資質向上のための療育経験のある若手社員の採用が必要。
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	2	3		・第三者評価は設置していないが、他事業所や法人内のグループから意見等があった場合は改善している。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	5		・積極的な参加ができるように努めている。	
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか 。	5		・HP上に公開している。	
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	5		・送迎時に保護者とお話しする時間を設けコミュニケーションに努めている。家庭での様子を聞き取ることで支援計画に活かせるよう心がけている。	
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	5		・管理者と連携し最善の支援を常に模索している。	
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	5		・支援計画作成、作成後は必ず職員と情報共有を行い、支援にブレが生じないよう努めている。	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	5		・児童の状態に応じて寄り添った支援を心掛けている。	
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	5		・定期的に管理者・ご家族と話し合い、内容を情報共有し支援に活かしている。	
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	5		・朝礼時等で各々から意見を求めより良い支援ができるよう意見を出し合っている。	
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	5		・成長や発達に合わせて毎回異なるプログラムを実施している。	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	5		・支援内容の個別化を計り支援方法を共有した対応をしている。 ・机上訓練は個別に実施し長期休暇では他児童と関わる時間を設けている。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	4	1	・朝礼や支援前に打ち合わせを実施している。	・職員の勤務時間の都合上、療育の打ち合わせが十分にできないこともあるため勤務時間の変更を検討している。
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い､気付いた点等を共有しているか。	5		・気づいた点は都度報告し合い、翌営業日に必ず振り返りを実施するようにしている。	・支援終了時刻と退勤時刻が同じなので翌朝の朝礼で時間を設けている。 ・勤務の合間時間を活かし情報共有を実施している。

	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	5		・活動内容を記録、共有し、職員がいつでも振り返られる体制を整えている。	
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	5		・見直しが必要であると判断した際は見直しを行い保護者に連絡を取るようにしている。	
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	5		・会議には管理者が参加し内容を事業所に持ち帰り職員間で共有・話し合いを実施している。	
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	5		・地域の他福祉事業所と季節ごとにイベント行事を企画し連携している。 ・学校や医療等とも必要に応じて連携している。	
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	5		・他事業所利用の際は支援内容などの情報共有を必要に応じて実施している。	
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	2	3		・開所し、まだ間もないため時期的にもまだ実施できない状態。今後実施していく。
	28	（28～30は、センターのみ回答） 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。				
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。				
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。				
	31	（31は、事業所のみ回答） 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか 。	5		・他事業所の状況も確認し連携して支援に繋げている。研修や見学にも積極的に参加している。	
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	1	4		・開所して間もないため今年度は実施が難しかったが、今後検討し実施していく予定。
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	5		・送迎時に保護者の方に療育内容や療育中のお子様の様子をお伝えしている。 ・毎回連絡帳にも記載している。	
	34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	3	2		・療育終了後には毎回ご家族とお話できているが家族支援プログラムやペアレントトレーニング研修などは今後実施していきたい。
保護者への説明等	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	5		・契約時に丁寧に説明をすることを心掛けている。	
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか 。	5		・保護者の方と面談を実施し課題や希望・ニーズを聞きとり作成している。	
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	5		・作成後は説明を行い、保護者から同意を得たうえでサインをいただいている。	
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	5		・子育て等の悩みには管理者がまず対応し内容を職員間で共有し必要に応じて担当職員も同席するように努めている。	
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	1	4		・保護者同士がお話されている様子も見受けられるため今後交流の場なども少しずつ検討していきたい。
	40	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	5		・相談があった場合は管理者を踏まえた職員全員で内容の確認を行い、その後対応している。	
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	5		・定期的にSNSやLINEなどで活動内容や子供たちの療育風景を発信している。	
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	5		・事業所ロッカーに鍵をかけ個人情報の取扱いに注意している。	
	43	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	5		・安心して声掛け・相談していただけるよう体制を整えている。	
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	4	1	・地域で開催するイベントの情報提供を行っている。 ・他事業所とのコラボ企画を実施している。	・開所しまだ１年も経過していないため、今後は地域との交流も深めていきたい。

非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	5		・各種マニュアルは職員がいつでも見れる場所に設置し、定期的に研修を実施し職員に周知している。	
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	5		・法人内で定期的に研修を実施している。	
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	5		・契約時に確認し職員全員に周知している。	
	48	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	5		・事業所内でのおやつ提供はない。 ・行事でおやつの提供をした際は自宅持ち帰りをお願いしている。 ・食物アレルギーに関しては職員把握済み。	
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	5		・事業所内の部屋や備品など毎月点検表を基に確認・点検をしている。	
	50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか 。	5		・自然災害発生時等の事業所対応について契約時に説明させていただいている。	
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	5		・その都度、様々な場面を検討し対処法などの意見を出し合っている。	
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	4	1	・法人全体で虐待防止委員会を開き、管理者は毎回参加している。またそれを職員に周知している。研修も定期的に実施。	・万が一の場合に備えて具体的な対応を定期的に話し合っていく。
	53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	5		・契約時に説明している。 ・法人全体で身体拘束適正化委員会を開催に管理者は毎回参加している（今年度は委員長）	